**📘 指導案（30分）**

**単元名：「数と計算1」　コマ1／9**
**題材名：大きい数の読み方・書き方（P.6）**

**🏁 本時の目標（ねらい）**

* 「万・億・兆」といった大きい数の読み方や、桁のまとまり（コンマの使い方）を知る
* お金やニュースなど、身の回りの中で大きい数を見つけてみようとする

**📌 評価規準（本時における視点）**

* 【知・技】「万・億・兆」の意味を理解し、簡単な読み書きができる
* 【主】活動に楽しんで参加し、身の回りにある数に興味をもとうとしている

**⏱ 時間配分と展開**

| **時間** | **展開** | **活動の概要** | **指導上の配慮** | **教具・教材** |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 5分 | 導入 | 実際の値札カードや電化製品の広告を提示。「いくらだと思う？」クイズで興味づけ | 知っている数とのギャップに驚かせる | 値札カード、大判チラシ |
| 5分 | 展開① | 教科書P.6の事例から「万・億」の読み方確認。数字を板書し、声に出して読む | 3桁ごとに区切ることで桁のまとまりを意識 | 数カード、ホワイトボード |
| 10分 | 展開② | 数字カードを組み合わせて、先生が金額を出題。「いくらと読む？」クイズ形式で練習 | 読みづらい生徒にはヒントカードを配布 | 数字カード、ヒント表 |
| 5分 | 展開③ | 実生活で出てくる大きい数を紹介（例：家の価格、国家予算、電気代の年間額など） | 興味に応じて職業や家族の話題とつなげる | スライドまたは図カード |
| 5分 | まとめ・振り返り | 「今日覚えた数で、いちばん大きいのはどれ？」発表＆振り返り | 桁が多くても「区切って読む」安心感を意識 | ミニカード、振り返りシート |

**✨ 活動の工夫ポイント**

* **大きな数字にワクワクさせる！**：現実感のある「1億円の札束写真」などでインパクト◎
* **読むだけでなく言ってみる！**：言葉に出して「万」「億」を体に覚えさせる
* **スモールステップで**：数字の「,（コンマ）」＝“読んで区切る目印”として視覚的に支援

**📘 指導案（30分）**

**単元名：「数と計算1」　コマ2／9**
**題材名：大きい数の比較（P.7）**

**🏁 本時の目標（ねらい）**

* 数字の桁の違いや位の違いに気づき、「どちらが大きいか」を見分けることができる
* 実際の買い物や給料、賞金などを例に、大きい数の大小を判断する力を養う

**📌 評価規準（本時における視点）**

* 【知・技】大きい数の大小を比較し、正しく「どちらが大きいか」を言える
* 【思・判・表】数字の並びから、自分で大きさを比べようとする
* 【主】ゲームや活動に楽しんで参加し、数字に親しもうとする

**⏱ 時間配分と展開**

| **時間** | **展開** | **活動の概要** | **指導上の配慮** | **教具・教材** |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 5分 | 導入 | 前回の復習をクイズ形式で。「1億円ってどれくらい？」「数字を声に出して読もう」 | 知っている金額を出して比較すると◎ | 数カード、札束写真 |
| 5分 | 展開① | 教科書P.7の例を使って、数字を左右に並べてどちらが大きいかを判断する | 桁のそろえ方を視覚的に見せる | ホワイトボード、数字マグネット |
| 10分 | 展開② | 「どっちが大きい！？カードゲーム」対戦形式で大小を比べる | 数が苦手な生徒は「1桁ずつ確認」支援 | 比較カード、順位表 |
| 5分 | 展開③ | 実生活例で比較：「コンビニの売上vsスーパー」「1万円札と100円玉100枚」など | 桁数が同じでも“上位の位”を見ることに気づかせる | チラシ、金額カード |
| 5分 | まとめ・振り返り | 今日の一番大きかった数は？「わたしのびっくりナンバー」発表 | 自分の好きなものと数字を結びつけて発言促進 | 発表カード、振り返りシート |

**✨ 活動の工夫ポイント**

* **ゲーム性を活かして判断力を育てる**：「比較ゲーム」で自然に数に触れる
* **具体物・金額との結びつけ**：「現実にあるお金」で桁の差を実感
* **「なぜ大きいのか？」を言えるよう支援**：自分の言葉で説明する力を養う機会に

## 💰 体感活動「1億円ってどれくらい？」

### 🎯 ねらい：

* 「億」という大きい数のスケールを、**数量ではなく量感・重さ・空間**で実感させる
* 数の桁（0の数）と金額の感覚を一致させる

### 🧰 準備物：

* 模擬1万円札（カラーコピー）×100枚（＝100万円）
* それを束ねた「100万円の札束」×10（＝1,000万円）
* それを10束そろえて「1億円」の模型（ダンボール箱などにまとめる）
* 1億円の重さのイメージ：本物なら約10kg。砂や新聞紙を詰めてそれに近づけると◎

### 🪄 活動手順（約5〜7分）

| **ステップ** | **内容** | **指導のヒント** |
| --- | --- | --- |
| ① 導入クイズ | 「1億円って、1円玉で何枚分？」「1万円札で何枚？」 | 黒板やスライドに提示。「100万円」「1,000万円」も出しておく |
| ② 模擬1万円札で100万円の札束を見せる | 「これが100万円。思ったより小さい？大きい？」 | A4サイズにピッタリ収まる札束にする。紙の厚みは少し出しておく |
| ③ 札束10個で1,000万円！ | 10個積んで「1,000万円」出現 | 教卓などにずらっと並べるとインパクト◎ |
| ④ 1億円（＝札束100個分）登場！ | ダンボール箱やかばんに詰めて「どーん！」と出す | 「これ、持てる？」「運べる？」など話を振ると盛り上がる |
| ⑤ 感想タイム | 「こんなにあると何が買える？」「どうやって数える？」 | 「数字」→「想像」→「実感」へつなげる時間に |

## 🍱 活動名：「どっちがすごい？実生活で大きい数比べ」

### 🎯 ねらい：

* 数字の大小だけでなく、「価値」や「量」と結びつけて、大きい数を感覚で理解する
* 実際の生活にある数字を通して、**数の使われ方・意味**を学ぶ

### 🧰 準備物（例）：

| **項目** | **内容** | **備考** |
| --- | --- | --- |
| 写真カード | コンビニ、スーパー、ATM、家の外観など | 生活に身近なもの |
| 数字カード | 各場面に関する金額や数量を大きな文字で書いたもの | 例：¥1,000,000／¥75,000 |
| 実物模型 | 100円玉（模擬コイン）×100枚／1万円札カードなど | 紙で代用してもOK |
| 比較カード | 「こっちが大きい！」「こっちが少ないね！」などの支援語句カード | 指差しや貼って使えるもの |

### 👣 活動手順（5〜10分）

#### 🌟 例1：コンビニ vs スーパーの売上比べ

1. **導入トーク**
	* 「コンビニとスーパー、1日でどっちがたくさん売れていると思う？」
	* 写真カードを見せながら問いかけ
2. **数字の提示**
	* コンビニ：30万円／1日
	* スーパー：300万円／1日
	→ 数字カードをホワイトボードなどに並べて見せる
3. **比較体験**
	* 「0の数を見てみよう」「3は10倍だね！」など、桁に注目
	* 大きさの違いを言葉で言ってみる：「スーパーの方が10倍売れてる！」
4. **ポイントをまとめ**
	* 「同じ“店”でも、こんなに違うんだね！」→身近さ＋驚きが大事

#### 🌟 例2：1万円札 vs 100円玉100枚

1. **導入クイズ**
	* 「1万円と、100円玉100枚。どっちが多いと思う？」
2. **見せる＋さわる**
	* 模擬1万円札1枚と、100円玉カード100枚（または実物の厚み）を提示
	* 「重さは？」「かさばるのは？」など五感を刺激
3. **数と形の違いを実感**
	* 見た目→大きさ→金額→数の違いをまとめる
	* 数が多くても価値が同じ！に気づかせる
4. **感想タイム**
	* 「もしお年玉でもらうならどっちがいい？」→理由を考える

### 📌 教員側のポイント

* **数＝量だけでなく価値にも目を向ける**よう促す
* **比較の視点（数、桁、重さ、見た目）を明確に言語化**
* 苦手な生徒には「見た目カード」や「○で囲んで選ばせる」など**視覚支援**を活用

### ✅ 活動の展開アイデア

* 「家の家賃 vs 昼ご飯の値段」
* 「電気代1ヶ月 vs 水道代1ヶ月」
* 「バス代 vs タクシー代」など

生徒たちが**大きい数の大小比較に親しむ**ためのアクティビティ、
「どっちが大きい！？カードゲーム」の**具体的なやり方**を、**特別支援学校・中学部1段階の生徒向け**に、**30分授業内の約10分活動として実施できる形**

**🎮 アクティビティ名：「どっちが大きい！？カードゲーム」**

**🎯 ねらい：**

* 3桁〜7桁程度の数字の**読み取りと大小の比較**を楽しみながら身につける
* 数字に対する\*\*「感覚」と「注目するポイント（上の位）」\*\*を体験で学ぶ

**🧰 準備物：**

**📇 数字カード（事前に作成）**

* A6サイズ程度で、**3〜7桁の数字**を書いたカードを**20〜30枚**程度用意
* 例：
	+ 3桁…365、980
	+ 4桁…1,200、9,999
	+ 5桁…12,800、95,000
	+ 6桁…120,000、999,999
	+ 7桁…1,000,000（100万円）など
* コンマ（,）の有無バージョンがあると読みの練習にも◎

**📒 得点カード・対戦表（あれば）**

* 勝ったら1ポイントを記録、連勝記録などをつけてもOK！

**👣 ゲームの進め方（ペア対戦形式）**

| **ステップ** | **内容** | **指導のヒント** |
| --- | --- | --- |
| ① ルール説明 | 「2枚のカードを出して、どっちが大きいかを当てよう」 | 「数字が大きい方を取った人が勝ち」と説明 |
| ② ペアで対戦 | 各ペアにカードの山を配る（10枚ずつ程度） | 教員が見守りつつ、必要に応じてサポート |
| ③ 1枚ずつ出して比較 | せーので1枚出す → 大きい方を比べて勝敗決定！ | 数字が読みにくい生徒には読んであげる、指差しでサポート |
| ④ 勝ったカードはゲット | 勝った人はその2枚をゲット！ → 最後に手持ちの多い方が勝ち | 同点の場合は「引き分け」で手札に戻すなどアレンジOK |
| ⑤ 数の確認 | 出たカードの数字を「声に出して読む」機会にする | 「1万2千ってどっちだ？」「0が何個あるかな？」など質問を添えると◎ |

**🌟 活動の工夫ポイント**

* **楽しさ重視！**：負けても悔しくないように、じゃんけん風に進行して盛り上げます
* **視覚＋聴覚の支援**：「数字が読めない」生徒には音読をサポート、「どこを見ればいいのか」を丁寧に支援
* **ルールを単純化して繰り返し可能に**：「1桁ずつ比べる」視点も必要に応じて導入

**✅ 発展アイデア**

* 【チーム戦にする】→ 3人ずつのチームで、合計得点を競う
* 【生活場面カードと組み合わせる】→「家賃A：65,000円」「ゲームB：9,800円」など、実生活と結びつける

### 📘 指導案（30分）

**単元名：「数と計算1」　コマ3／9**
**題材名：分数の意味の理解（P.11）**

#### 🏁 本時の目標（ねらい）

* 「分数」は「同じ大きさに分けたうちのいくつか」であることを理解する
* 実物や模型を使って、「1/2」「1/3」「1/4」などの意味を体験的に学ぶ

#### 📌 評価規準（本時における視点）

* 【知・技】分数を「等しく分けたものの1つ分」として理解できる
* 【思・判・表】絵や実物を見て、「いくつに分けたか」「そのうちいくつか」を答えられる
* 【主】分ける・比べる活動に興味をもって取り組む姿勢がある

#### ⏱ 時間配分と展開

| **時間** | **展開** | **活動の概要** | **指導上の配慮** | **教具・教材** |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 5分 | 導入 | ピザやケーキの写真を見せて「これ、何人で分ける？」 | 食べ物をテーマに、楽しみながら関心を引き出す | 写真カード、ピザ模型 |
| 5分 | 展開① | ピザを2人・3人・4人で分けたらどうなるか？ → 実物で分けて体験 | 色紙や模型を実際にカットして体感 | ピザ型教材（紙）、ハサミ |
| 10分 | 展開② | 「1/2」「1/3」「1/4」などの言葉と記号を紹介し、実物と対応させる | 目と手で一致させながら何回も繰り返す | 分数カード、絵カード |
| 5分 | 展開③ | 「1/2の方が大きい？1/4の方が大きい？」→大きさ比べ | 実物を並べて比べる視覚的な工夫 | 分割済みピース、比較シート |
| 5分 | まとめ・ふり返り | 「今日覚えた分数、どれが好き？」を発表 → 理由も話してみる | 苦手な子には選択肢から選べる工夫 | ミニカード、振り返りシート |

#### ✨ 活動の工夫ポイント

* **食べ物で導入することで生徒の関心を引き出す**（「もしケーキならどれがいい？」など）
* **「何等分したか」「そのうちのいくつ分か」を、体験→言語化へつなぐ**
* **記号と意味を一致させる支援**：「1/2＝2つに分けたうちの1つ」など何度も繰り返す

### 📘 指導案（30分）

**単元名：「数と計算1」　コマ4／9**
**題材名：分数の読み方と使い方（P.12）**

#### 🏁 本時の目標（ねらい）

* 「1/2」「1/3」「3/4」などの分数の**読み方**を覚える
* 食べ物や図、日常生活の場面を通して、「分数の意味を使って表現する力」を育てる

#### 📌 評価規準（本時における視点）

* 【知・技】分数の読み方がわかり、正しく読むことができる
* 【思・判・表】分数を使って、実物や図を説明しようとする
* 【主】生活の中にある分数に興味を持ち、自分から表現しようとしている

#### ⏱ 時間配分と展開

| **時間** | **展開** | **活動の概要** | **指導上の配慮** | **教具・教材** |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 5分 | 導入 | 教室内に「1/2ピザ」「1/3ケーキ」などを掲示して、「これ何て読む？」クイズ | 前回（3コマ目）で分けたピザ等を再活用すると定着が高まる | ピザ模型、ケーキ模型 |
| 5分 | 展開① | 分数の読み方を確認：「1/2→にぶんのいち」「2/3→さんぶんのに」など | 分数カードで読みの支援、「ぶんの」の語順に注意 | 分数カード、よみがな付き一覧表 |
| 10分 | 展開② | 生活場面での使い方紹介：「ジュースを半分こした」「ピザを4人で分けた」など | 絵カード・写真で具体的に提示、グループで話し合っても◎ | 日常生活カード、食べ物写真 |
| 5分 | 展開③ | ミニワーク：「○/○と書いてあるけど、これってどんな意味？」 | 絵を見て分数を書く、分数を見て絵を選ぶなど選択形式で | ワークシート、フラッシュカード |
| 5分 | まとめ・ふり返り | 「今日の分数、どれが一番わかった？」→理由と一緒に発表 | 発言が苦手な生徒には絵カードで指差し選択 | 振り返りカード、分数イラスト集 |

#### ✨ 活動の工夫ポイント

* **「ぶんの」の語順**に慣れるよう、**何度も読んで言って聞いて**を繰り返す
* **視覚＋音読＋具体例**の3点セットで分数理解を深める
* 「1/2のピザ」と「1/3のケーキ」、\*\*どちらが大きい？\*\*など比較も導入

### 🧰 補足教材案

* 【分数フラッシュカード】→表に図、裏に「読み方」や「使い方」
* 【生活分数カード】→「1/2のお小遣い」「3/4の水」「1/3のジュース」など

この授業は、前時で「体験的に理解した分数の意味」を、**言語化し表現できるようにする1時間**として設計しています。

【分数フラッシュカード：Word形式テンプレート】

◆ カード1 【表面（図の説明）】：ピザを2つに切って、1つ塗りつぶしている絵 【裏面（読み方・意味）】： 1/2（にぶんのいち） → 2つに同じ大きさに分けたうちの1つ。 → 友達と半分こしたときの1人分！

◆ カード2 【表面（図の説明）】：ケーキを3つに切って、1つに色がついている絵 【裏面（読み方・意味）】： 1/3（さんぶんのいち） → 3つに分けたうちの1つ。 → 3人で同じ大きさに分けたときの1人分！

◆ カード3 【表面（図の説明）】：ケーキを4つに切って、3つに色がついている絵 【裏面（読み方・意味）】： 3/4（よんぶんのさん） → 4つに分けたうちの3つ。 → 「あと1切れ残ってるね！」の場面にぴったり！

◆ カード4 【表面（図の説明）】：コップの水が半分の高さまで入っている 【裏面（読み方・意味）】： 1/2（いちぶんのいち） → コップの半分まで水が入っている。 → 「どれくらい飲んだ？」を考えるときに使える！

◆ カード5 【表面（図の説明）】：お皿にクッキーが4つあり、2つに○がついている 【裏面（読み方・意味）】： 2/4（よんぶんのに） → 4つのうち、2つ選ばれている。 → 「半分に近いね！」という場面で使える！

### 📘 指導案（30分）

**単元名：「数と計算1」　コマ5／9**
**題材名：分数の活用（割り勘）**

#### 🏁 本時の目標（ねらい）

* 割り勘の場面を通して、「いくつかに等しく分ける」＝分数という考え方を理解する
* 3人や4人で分けたときに「1人あたりいくらになるか」を、実際に計算・体験する

#### 📌 評価規準（本時における視点）

* 【知・技】金額を「○人で等しく分ける」計算ができる（分数またはわり算）
* 【思・判・表】実際の割り勘場面で「1人いくら？」を自分で考えて表現しようとする
* 【主】活動に積極的に参加し、生活に結びつけて学ぼうとしている

#### ⏱ 時間配分と展開

| **時間** | **展開** | **活動の概要** | **指導上の配慮** | **教具・教材** |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 5分 | 導入 | 「みんなでケーキを買って食べました。1ついくら？どう分ける？」という話題から導入 | 実生活とのつながりを重視（誕生日・おでかけの話題など） | 絵カード、分ける場面イラスト |
| 5分 | 展開① | 割り勘の意味を確認：「3人で600円のケーキを買ったら1人いくら？」 | わり算 or 分数で表せることを提示 | 金額カード、わり算シート |
| 10分 | 展開② | 実際に「割り勘ゲーム」：カードを使って1人分を計算する体験 | 図・お金模型・配役（レジ役など）で理解を支援 | 模擬メニュー、模擬紙幣、割り勘カード |
| 5分 | 展開③ | お店ごっこ形式で買い物→割り勘：3人でアイスを買ったら？4人でピザを買ったら？ | 金額にバリエーションをつけて応用へ | お金シート、グループ表 |
| 5分 | まとめ・振り返り | 「今日の買い物で1人いくらだった？」を言葉または絵でふりかえる | 自分の言葉が難しい場合は、絵カード選択でもOK | 振り返りカード、ミニ買い物シート |

#### ✨ 活動の工夫ポイント

* **“実際に割る”ことを体感的に経験**：模擬お金やお皿・ケーキを使って、「これを3人でどう分ける？」から入る
* **「わり算と分数は同じこと」の橋渡し**：600÷3＝200と、600円を「1/3にする」→どちらも同じ！を視覚化
* **金額を「手で分ける」→「数で求める」ステップで習得**をサポート

### 🧰 活用教材例

* 割り勘カード（例：「1,200円を4人で分ける」など）
* 模擬メニュー（アイス：450円／ピザ：1,000円／ジュース：300円）
* 模擬紙幣・硬貨、電卓（希望があれば）

この授業では、分数を「実際の生活の中で使える力」に変えることを目指しています。
喜んでご提案いたします！

## 💳 割り勘カード（A6サイズ程度／1枚で1つのシチュエーション）

### 🔸 カード構成（表面）：

| **項目** | **内容の例** |
| --- | --- |
| シーン写真 | 食べ物や買い物のイラスト or 写真 |
| 商品名 | 例：アイスクリームセット |
| 合計金額 | 例：600円 |
| 割る人数 | 例：3人で割り勘 |
| 質問 | 「1人いくらになるかな？」 |

### 🃏 割り勘カード例（3種類）

#### 🟨 カード①

🍰 **ケーキセット（1,200円）**
👫👭 **4人で分けます**
💬「1人いくら？」
📸（ケーキとフォークのイラスト）

#### 🟩 カード②

🍕 **ピザとジュース（900円）**
👬 **3人で割り勘します**
💬「1人分、計算してみよう！」
📸（ピザ・コーラの写真）

#### 🟦 カード③

🎟️ **映画チケット（1,500円）**
👫👫👬 **6人でまとめて買ったよ！**
💬「1人いくらだったかな？」
📸（チケットのイラスト）

### 🔄 活用方法：

* ペアやグループで1枚引いて→模擬紙幣 or ホワイトボードで「計算」
* 電卓あり／なし、選択式解答、ステップ付き（ヒントあり）など**個別の配慮に応じて調整可能**
* 活動後、「だれがいちばん安く食べられたか？」などの**振り返りトーク**にもつなげられます

### 🧾 さらに応用：

* 「2人で1,000円を割り勘 → 1人500円」
→ そのあとに「じゃあ1人だけジュースも買ったら？」など**実生活への応用**へつなげる

### 📘 指導案（30分）

**単元名：「数と計算1」　コマ6／9**
**題材名：速さの導入（P.47）**

#### 🏁 本時の目標（ねらい）

* 「速さ」とは「ある時間にどれだけ進むか」という考え方であることを知る
* 歩く・走る・自転車・車などの身近な移動手段を比べながら、**「どっちが速い？」に気づく**ことができる

#### 📌 評価規準（本時における視点）

* 【知・技】「どちらが速いか」を移動手段や距離から判断できる
* 【思・判・表】「速さ」に関わる場面を想像し、理由を説明しようとする
* 【主】移動の比較や活動に興味をもち、積極的に取り組んでいる

#### ⏱ 時間配分と展開

| **時間** | **展開** | **活動の概要** | **指導上の配慮** | **教具・教材** |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 5分 | 導入 | 「学校まで歩いたら？ 自転車なら？ バスなら？」など日常の移動をクイズ形式で導入 | 生徒が実際に使っている移動手段を例に出すと◎ | 絵カード（歩く・自転車・車） |
| 5分 | 展開① | 教科書P.47の絵を見ながら「どれが速いと思う？」→理由も聞く | 視覚的資料で判断を助ける／言語表出が苦手な生徒は選択式で対応 | 教科書、スライド、選択カード |
| 10分 | 展開② | 移動距離を決めて「歩くと◯分・自転車だと◯分」→「こっちの方が速い！」を実感 | ストップウォッチや移動距離カードで視覚・体感の補助 | 距離カード、時間表示カード |
| 5分 | 展開③ | 「速い＝距離が長い／時間が短い」と図で整理 | 速さの関係（道のり・時間）を絵や図解で視覚化 | 三角関係図、速さイラスト |
| 5分 | まとめ・振り返り | 「どの乗り物が速かった？」「どれを使いたい？」を発表 | 選んだ理由を言語化できなくてもOK。絵で表現も◎ | 発表シート、絵カード、振り返りシール |

#### ✨ 活動の工夫ポイント

* **「どっちが速い？」は誰でも直感的に答えやすい**ので、発言のハードルを下げやすい
* **「速さ＝時間と距離の関係」を体感→可視化することが大事**
* 「歩く→8分」「自転車→3分」などの数値例を出して実感を深める

### 🧰 教材例

* 【移動手段カード】…歩く／走る／自転車／バス／新幹線などイラスト付き
* 【移動距離カード】…「100m」「300m」「1km」などの道のりを示す
* 【速さの三角図カード】…「道のり＝速さ×時間」式を図で表したもの（次回以降で使用も可）

この授業は「数式を使う前の準備」として、**“速さってなに？”に感覚でアプローチする1時間目**です。

### 📘 指導案（30分）

**単元名：「数と計算1」　コマ7／9**
**題材名：時速の理解（P.46）**

#### 🏁 本時の目標（ねらい）

* 「時速○km」は「1時間にどれだけ進むか」を表していることを理解する
* さまざまな移動手段の時速を比べながら、速さの感覚を身につける

#### 📌 評価規準（本時における視点）

* 【知・技】時速の意味を理解し、乗り物ごとの速さの違いに気づける
* 【思・判・表】生活にある移動手段から「どれが速い？どれが遅い？」を自分なりに考えることができる
* 【主】速さの活動に意欲的に参加し、自分の感覚とくらべて楽しもうとする

#### ⏱ 時間配分と展開

| **時間** | **展開** | **活動の概要** | **指導上の配慮** | **教具・教材** |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 5分 | 導入 | 「1時間で10km行ける人と、5kmの人、どっちが速い？」クイズ | 絵カードや簡単な図で「距離」イメージを視覚化 | 移動手段カード（例：歩く、自転車） |
| 5分 | 展開① | 教科書P.46を使って、時速の書き方「時速10km」＝「1時間に10km進む」ことを確認 | 言葉だけでなく図解でサポート | 教科書、ホワイトボード図 |
| 10分 | 展開② | いろいろな乗り物の時速を比べようゲーム：「歩く＝4km／自転車＝15km／バス＝40km…」 | 数字が苦手な生徒には順位づけ・並び替え活動を中心に | 乗り物カード、時速カード |
| 5分 | 展開③ | 「家から学校まで4km。時速4kmだと何分かかる？」のような例で「速さ＝距離÷時間」の導入 | 数式ではなく、図と表を使ったやさしい導入に | 移動シート、三角関係図（配布） |
| 5分 | まとめ・振り返り | 「どの乗り物が便利？どの時速がすごいと思った？」などをふりかえる | 絵カード選択や言葉での発表で参加感を高める | 発表カード、感想カード、振り返りシート |

#### ✨ 活動の工夫ポイント

* **実際に使っている交通手段をベースにすると、生活に結びつきやすい**（通学手段や家族の移動）
* **「時速＝1時間でどれだけ進むか」の言葉＋絵の反復**で理解を定着
* **並び替え／比較など、計算以外の視点でも参加できる工夫**を取り入れる

### 🧰 教材・教具例

* 【乗り物カード】：徒歩、自転車、自動車、電車、新幹線、飛行機など
* 【時速カード】：数字だけでなく「10kmってこのくらい」のイメージ付きも◎
* 【三角関係図シート】：速さ・道のり・時間の関係を可視化する補助教材

### 📘 指導案（30分）

**単元名：「数と計算1」　コマ8／9**
**題材名：時間・道のりの関係（P.47）**

#### 🏁 本時の目標（ねらい）

* 「速さ・時間・道のり」の3つの関係を、表や図を使って理解する
* 速さと時間の情報から、道のりを求めたり、逆に速さと道のりから時間を予測したりできるようになる

#### 📌 評価規準（本時における視点）

* 【知・技】「速さ×時間＝道のり」や「道のり÷速さ＝時間」などの関係を図で説明できる
* 【思・判・表】実生活の移動場面で「何分かかるか？」「どのくらい進めるか？」を考えようとする
* 【主】図を使った活動に楽しんで取り組み、自分の移動経験と照らして考えることができる

#### ⏱ 時間配分と展開

| **時間** | **展開** | **活動の概要** | **指導上の配慮** | **教具・教材** |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 5分 | 導入 | 「家から学校まで4km。時速4kmなら何分かかる？」のクイズ | 生徒の実生活に合わせて出題 | 絵カード、簡単な地図 |
| 5分 | 展開① | 教科書P.47の図を確認しながら、速さ・時間・道のりの関係を整理 | 三角関係図を使って「どれを求めたいか？」に注目 | 教科書、三角関係図シート |
| 10分 | 展開② | ワーク①「時速5kmで2時間歩くと、何km？」ワーク②「6kmの道のりを、時速3kmで歩いたら何時間？」 | ヒントカードや選択肢を使って計算の負担を調整 | ワークシート、速さカード、数字カード |
| 5分 | 展開③ | 実生活場面での応用：「時速60kmの車で3時間走るとどこまで行ける？」 | 距離に関するスケール感を育てることを重視。地図はシンプルなものを使用。 | 簡易地図、移動距離表、ホワイトボード地図カード |
| 5分 | まとめ・振り返り | 「今日は何を求められるようになった？」「何がわかった？」をふりかえり | 絵で選択 or 自由記述で表現 | 振り返りシート、マグネットカード |

#### ✨ 活動の工夫ポイント

* **「三角関係図」を使って“どれを求めたいか”に注目**させる
* **数字が苦手な生徒には選択肢式やイラストでのサポート**を徹底
* **生活に置き換えて考える力**を伸ばす：「学校に何分前に出ればいい？」「どの道が早い？」などにも応用可

### 🧰 教材・教具例

* 【速さ×時間ワークシート】…2択または3択で答える形式でも◎
* 【模擬地図カード】…スタート・目的地・道のりが書かれた地図風教材
* 【三角関係図シート】…毎時間活用する「速さの支援図」ツール

#### 🧭 活動の具体例（実際の内容例）：

* 速さ：**60km/h**（車の速さ）
* 時間：**3時間**
* 計算：60×3＝**180km**
* 米沢を起点に地図を見せながら、「180km進んだらどこまで届く？」をグループで考える

#### 📍 例：米沢からの実距離（目安）

* 福島市：約55km
* 仙台市：約110km
* 新潟市：約150km
* 山形市：約40km
* → 180kmで「新潟や仙台を超えて、もっと遠くへ行けそうだね！」と地理とつなげる

### 📘 指導案（30分）

**単元名：「数と計算1」　コマ9／9**
**題材名：振り返りクイズ（ゲーム形式）**

#### 🏁 本時の目標（ねらい）

* これまで学習した「大きい数」「分数」「速さ」について、クイズ形式で楽しく振り返る
* チームやペアで協力しながら答えることで、学習内容の定着とコミュニケーションを図る

#### 📌 評価規準（本時における視点）

* 【知・技】学習した内容をクイズを通して思い出し、適切に答えることができる
* 【思・判・表】答えの理由や考え方を、言葉や図で伝えようとする
* 【主】仲間と協力して活動に前向きに参加し、達成感や楽しさを感じる

#### ⏱ 時間配分と展開

| **時間** | **展開** | **活動の概要** | **指導上の配慮** | **教具・教材** |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 5分 | 導入 | 「今日は、これまでの勉強を使ってクイズに挑戦します！」とワクワク感を高める | クイズ形式にした理由（楽しく思い出す）を簡単に伝える | タイトルカード「クイズ大会！」 |
| 5分 | クイズ①【大きい数】 | Q「1億円は1万円札で何枚分？」「100万円と1,000万円、どっちが大きい？」など | 絵カード・ヒントカードを使って答えやすくする | 数字カード、比較図カード |
| 5分 | クイズ②【分数】 | Q「ピザを3人で分けると1人分は？」「1/4のケーキと1/2のケーキ、どちらが大きい？」 | 実物教材を再活用すると効果的 | 分数カード、ピザ模型 |
| 5分 | クイズ③【速さ】 | Q「時速60kmの車で2時間走ると何km？」「歩くのと自転車、どちらが速い？」 | 絵＋数字のヒントで考える手がかりを用意 | 乗り物カード、三角関係図 |
| 5分 | ミニゲームタイム | チーム対抗「〇×クイズ」や「どっちが大きいゲーム」など形式を変えて盛り上げる | 全員参加できるよう答え札やホワイトボード使用 | 〇×カード、ミニホワイトボード |
| 5分 | まとめ・ふり返り | 「どの問題が一番楽しかった？」「またやりたいクイズは？」と感想共有 | 感想カードを絵やことばで書く／貼る | ふり返りカード、掲示スペース |

### 🎉 クイズ形式の工夫ポイント

* ✨ **選択式 or ジェスチャー形式**：読み書きが苦手な生徒も「指差し・カード提示」で参加OK！
* ✨ **ポイント制で盛り上げる**：「正解で1点！」など得点が目に見えると達成感UP
* ✨ **クイズ係・読み上げ係などの役割分担**も取り入れると協力的な活動に◎